

○令和4年度の業務の実績に関する評価結果の反映状況

令和4年度評価における指摘事項	評価項目	令和5年度の業務運営等への反映状況
<p>県内出身入学者の確保に向け、入学者選抜の募集人員の見直しを検討するなどの取組は評価されるものの、県内出身入学者比率に係る目標が未達成となっており、更なる取組の強化が求められる。</p>	<p>I-1-(1)</p>	<p>進学推進員による県内高校訪問から得られた情報や総合型選抜後のアフターフォロー訪問も継続し、得られた情報を組織内で共有し、令和6年度の募集活動や入試の検証に活用した。また、高大接続ハイレベル講座(数学・生物・化学)を実施し、県内21校71名の受講希望者に対して講座を開講した。また、令和6年4月入学者向けの入試ガイドには入学生特待生制度(奨学金制度)を掲載する等、県内出身学生向けの周知活動の強化を図った。</p> <p>こうした取組を行ったが、令和6年度入試の県内出身入学生比率は25.2%となり、数値目標の35.0%には届かなかった。引き続き、県内高校を対象とした高大接続の機会を創出するとともに、県内高校の進路動向等を踏まえて県内からの入学者確保の取組を一層強化する。</p> <p>【県内出身入学生比率】 R 6 入学：25.2% R 5 入学：33.6%</p>
<p>学部学生への大学院進学を促す働きかけや、高校生向けの進学説明会における大学院の魅力発信などの取組強化により、大学院収容定員充足率が目標値の100%を超えたことは評価されるものの、前後期課程間などにおける偏りがみられることから、それぞれについての状況分析、対応が求められる。</p>	<p>I-1-(2)</p>	<p>学部学生の大学院進学を促すため、研究科別に進路ガイダンスで大学院についての説明会を開催したほか、高校生向けの進学説明会などでも本学大学院の魅力を発信するとともに、学部在籍時の成績に応じて年間授業料相当額または半額を給付する「大学院優秀学生奨学金制度」を継続し、優秀な学生を確保した。</p> <p>また、社会人入学者の学位取得の増加につながるよう、県内企業等に所属する社会人学生を科目等履修生や聴講生として積極的に受け入れ、長期履修制度や特別早期修了制度等、社会人向けの多様な学修形態をPRし、社会人学生の受け入れを推進した。</p> <p>こうした取組の結果、令和6年5月時点での大学院収容定員充足率は102.1%と、3年連続で数値目標の100%を達成できたが、博士後期課程の学生確保に向け、博士前期課程からの学内進学推進策及び学外からの進学希望者の獲得策の検討、実施に向け取り組んでいく。</p> <p>【大学院収容定員充足率】 R 6 102.1% (前期 113.5%、後期 56.4%) R 5 111.8% (前期 123.1%、後期 66.7%)</p>
<p>就職決定者に占める県内企業・事業所への就職者の割合は目標値の30%を下回ったものの、県内企業等に対する働きかけが積極的に行われており、今後の取組が期待される。</p>	<p>III-2-(1)</p>	<p>「ジョブシャドウイング(職場観察型1日インターンシップ)」を夏期と春期に実施し、県内企業25社で延べ92名の学生が参加した。県内就職を視野に入れる学生に向けては、県内の業界・企業への理解を深めるガイダンスやバスツアー、個別の企業見学会、インターンシップを実施したほか、県内企業を中心とした合同企業セミナーを実施し、県内企業と学生の接点をつくる取組を適時に行った。また、県内企業に対しては、訪問(64社)などの機会を利用し、学生の動向等に関する情報提供や早期の求人票提出を働きかけた。</p> <p>こうした取組の結果、令和6年3月学部卒業生の就職決定者に占める県内企業・事業所への就職者の割合は26.9%と向上したが、数値目標の30.0%には届かなかった。引き続き、学生の動向等を踏まえ、県内就職を希望する者へのきめ細かな支援を実施する。</p> <p>【就職決定者に占める県内企業・事業所への就職者の割合】 R 5 実績：26.9% R 4 実績：25.1%</p>